

## 高岡市とその周辺地区の

## 肝障害患者に関する調査 (その1)

農協高岡病院第一内科 北川 鉄人

## 調査の目的および方法

昭和45年 1月 1日より12月31日まで農協高岡病院第一内科受診した外来及び入院の初診患者の中で肝障害があると診断された者を対象とし入院及び外来病誌の中から今回の調査を行なった。調査の目的としては過去 1年間入院および外来患者診療中、特に肝疾患患者が他の病院よりも多いような印象を受けたので、まず患者総数に対する肝疾患患者の比率を調べることにした。

次に肝疾患患者が男と女がどちらが多いかを調べ総数に対する比率を調べた。さらに、外来及び入院の肝疾患患者の月別受診率について比較検討した。最後に高岡周辺のどの地域から、外来及び入院の肝疾患患者の受診者が多いかについても図示して調べてみた。

## 調査成績および考察

## 1. 入院患者総数に対する肝疾患患者の割合

- (A) 一年間の入院患者総数は611人で このうち肝障害患者は81人であった。(12.6%)  
男はこのうち56人(69.1%)女は25人(30.9%)であった。

## 2. 外来患者総数に対する外来肝疾患患者の割合

- 外来患者総数(主として初診)3929人であり外来肝障害患者は112人であった。(2.8%)このうち男62人(55.4%)女50人(44.6%)

## 3. 肝疾患患者の外来および入院の月別受診状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
外来	8	7	8	9	11	11	20 (17.8%)	6	12 (10.7%)	8	8	4
入院	2	5	9	4	6	9	11 (13.6%)	10 (12.3%)	6	8	6	5

入院肝疾患患者が最も多かった月は7月であ

り13.6%を示し、次は8月で12.3%を示している。最も少ない月は1月であった(2.5%)。

外来肝疾患患者が最も多い月は7月であり、17.8%であった。次に多いのは9月で10.7%であった。最も少ない月は12月の3.5%である。

## 4. 肝疾患入院患者の地域分布状況

図表1に示すように高岡、伏木地区の肝疾患患者が最も多いようである。その他の地域では特に患者数が多いような地域は見られない。高岡周辺の肝疾患患者のうちで明らかに肝硬変及び肝癌と診断したものについては別の記号(X)で示したが、患者発生率の多い地域に多く発生しているように思われる。

## 5. 肝疾患外来患者の地域別分布状況

図表2. 高岡市が圧倒的に多いのがわかるが、外来肝疾患患者層は軽症であり、比較的自覚症状に乏しく、最も近辺の病院に集まったものであろう。

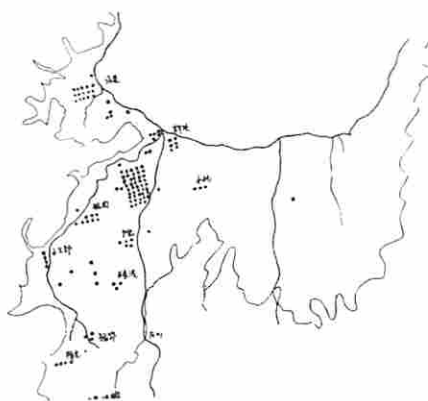
## 6. 疾患別統計に対する考察

肝疾患の確実な診断は周知の如く、詳細な病歴及び肝機能検査によらなければならぬものであり、特にその病理組織診断が必須であろう。私共第一内科でこのように診断された肝疾患患者は約60名であり、肝疾患入院患者の約75%に相当する。疾患の正しい診断と治療を行なうために肝疾患患者数の多い外来層の患者に今後検査の重要性を十分理解させる必要があると思われる。

疾患別統計の詳細については次回にまとめて報告する予定である。



図表 1 肝疾患入院患者の地域別分布状況



図表 2 肝疾患外来患者の地域別分布状況

### 今後の問題点

今回、私共が行なった調査成績は今後の問題を提起するものとしては余りに不十分ではあるが、これを第一報として今回のものをさらに詳細に検討し、将来も継続調査して行きたいと思っている。

将来の方向としては第一にこの地区に肝疾患患者が実際に多いのかどうか、その推移を調べ、原因究明にまでも考察してみたい。

第2にこのような患者についてのFollow-upを徹底におこない如何なる転帰をとるかどうかをしらべ、富山県農村地区の中心である高岡近辺に特有なものがあるかどうか、さらに新しい患者の予後に役立つようなものがないかなど私共の将来の報告について夢み、第一回の報告をした次第である。